



## Minami-hatoba\_1(Shirouyasu\_Suzuki)

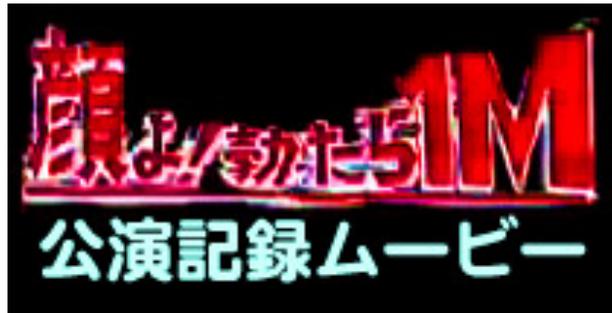
2005-01-31

歯医者に行った。

日曜日の昨夜はとうとう作品は再提出されなかった。1年生の上演の稽古や準備をしている学生のために施設の鍵開けに来ていた萩原朔美さんと雑談して10時過ぎに下校した。地下鉄で帰宅して、リンゴと牛乳を口してから、50分の「顔よ、勃ったら1m」のムービーを灰皿町Shirouyasu\_Haizaraにアップしようとしたら、歯が痛み出して、バファリンを飲んで寝た。

31日朝食後、新聞を読んでいて歯が痛いので歯医者に行くことにして予約する。トイレでは「中国服のプレヒト」を読む。易の考え方には、出た卦に対して反対のことを勘案するということがあって、物事は矛盾を含んでいてそこに転換が起こる、そのことが「メ=ティ」に述べられていること、つまり弁証法と重なりと書かれていた。ストレッチ体操、シャワー、日録ノートの後、「顔よ、勃ったら1m」の公演を50分に編集したムービーをShirouyasu\_Haizaraにアップして、かけそば、カボチャの煮付け、黒豆などで麻理と2時頃昼食。2時40分に上原商店街から坂を下ったところにある寺坂歯科に行き見て貰う。炎症を起こしているところを治療して貰う。帰り、文教堂でMacminiのことが載っている「MacPeople」を買い、スーパーのパルケで買い物。猫の餌、牛乳2本、パプリカ2個、カボチャ、稲庭うどん2袋、トマト2個入り2個、レタス、イチゴ、さといも、角ぎんつば、ライ麦パンなどを買って、自転車の籠に入らないので、猫の餌は後ろの荷台に紐で縛って帰ってきた。スーパーでの買い物と自転車を漕いで帰ってきたので、汗をかいて、家の戻ってシャツを着替えた。

**注意！** 114MBのQuickTime Movieです。



[QuickTime Playerのダウンロード](#)

16:56:54 - shirouyasu - No comments

2005-01-30

カボチャを煮て、「曲腰徒歩新聞」の記事を更新

30日の今日は、朝食を食べながら新聞を読む間にサツマイモを茹でた。トイレでは「中国服のプレヒト」のパート3に読み進んだ。パート2は、ハンナ・アレントという人のプレヒト批判に対する弁護だった。プレヒトが東ドイツに行ったことを「罪」としているのに対して、「メ=ティ」や『コイナさん談義』を引用してプレヒト自身の言葉で弁護しているのだった。戦中、アメリカで暮らしていたといっ

### Navigation

[Previous 月](#)

[Next 月](#)

[Today](#)

[Archives](#)

[Admin Area](#)

### Categories

[All](#)

[General](#)

灰皿町の本

●[幻想小説『なめくじキーホルダー』清水鱗造](#)

●[「週刊読書人」詩時評一九九二-一九九三年 清水鱗造批評集 第二分冊](#)

### Search

でも、ブレヒトは共産主義者だったが、スターリンを養護したり賛美したりはしていないということだった。パート3はいきなり「易経」の話から始めて、「メ＝ティ」が「転換の書」といわれているその転換を語るのに、「易」が変化を意味するということが書かれていた。長谷川さんは本から本へと話を次いでいく、本が好きなんですね。トイレから出て、昨日はストレッチ体操をする暇がなかったが、今日はストレッチ体操をして、シャワーを浴びて、それから前に買って来てあったカボチャを鰹のだしと醤油と砂糖で煮た。仕事場で日録を書いて、「曲腰徒歩新聞」の記事を書き始めた頃に煮えていた。今回は成功、おいしく煮ることが出来た。「曲腰徒歩新聞」の記事を書いていると、書肆山田の鈴木一民さんから「るしおる」の詩と石井さんの写真の本に付ける文章の締め切りが近いという電話。一週間延ばして貰う。「曲腰徒歩新聞」には、多摩美のF Tの学生たちの作品について書いた。2時頃、今日は麻理がおばあちゃんを退院させに行ったので、カボチャを丼に移して、その煮た汁に長ネギを切って入れて煮て、そばを茹でて、カボチャ汁そばにして食べた。それから、眠気が差してきたのでベッドで仮眠。その後、「曲腰徒歩新聞」をサーバに送って更新した。4時半近く家を出て、地下鉄と田園都市線で上野毛へ。駅近くの「幸楽飯店」で野菜炒めとご飯で夕食。店を出て、隣のそば屋の看板を見て覚えてないその店の名前を反芻したが、いままた忘れてる。多摩美の研究室に来て、この前「教育版」で購入した「STUDIO MX」をインストールして、今日作品を再提出する学生が来るの待ちながらこのblogを書いている。

20:16:23 - shirouyasu - No comments

## 2005-01-29

イメージフォーラム付属映像研究所の卒業作品講評。

朝食の後のトイレで、「中国服のブレヒト」を読む。今日のところは、ブレヒトが戦後アメリカから東ドイツに行き演劇活動をしたことで、スターリンを賞賛したと批判されていることに対して、「メ＝ティ」では、ブレヒトはスターリンの役割を述べているだけで、貶すことも褒めることもしてない、ということが書いてあった。スターリンを賞賛するのは「罪」だといわれるが、ブレヒトはそういう「罪」は犯していないというわけ。その前に「徳」ということがいろいろと書いてあったが、表現者の「徳」ということは、やはり大切なことなんだと改めて思った。まあ、わたしが表現する人に対して気に入らないと感じるところは、どうもその「徳」ということに関係しているようにも思える。そんなことを頭に置きながら、今日はストレッチ体操をしないで、トイレから出ると着替えて直ぐに9時半を廻ったところで家を出た。家から坂を下りたところでタクシーを拾って、青山の金王坂上で下りて、イメージフォーラム付属映像研究所へ。10時から奥山順市さんと卒業制作の、3月発表会に向けてのAクラスの講評。午前中に二人。午後は萩原朔美さんと4人の作品講評。4時に終わって、富山さんと四方山話をして、4時半頃イメフォを出て、渋谷駅から山手線で新宿に出る。高野でニルギリとアッサムの紅茶を買い、道路工事中の新宿駅南口を廻って、甲州街道沿いのソフマップでMacminiの実物を見た。思ったより小さかった。ハードディスク40GBメモリ256MBで58000円、80GBになると77000円だった。メモリ512MBにして欲しいと思って店員に聞くと、メモリ増設はAppleでやるので2週間ぐらい掛かるということだった。衝動買いしそうなマシンだ。空気穴が下側に付いているというのが気に入った。それから、ヨドバシに行って、Mac売り場でPowerBook用の冷却器を買った。いま使っているのがカタカタという音を出すようになったので買換えだ。あと、ヨドバシではHDD-VHS-DVDレコーダを見て、カタログを貰い、西口地下の喫茶店で珈琲を飲んだ。地下に下りるとき、「アマテ」という店に行くつもりだったが、そこは「PRONTO」に変わっていた。そういえば、もうずっと前になくなっていたのだ。で、無くなっていたのに間違えたというのは繰り返していることに気が付いて、その繰り返しの延長で、「EURO CAFE」に入った。既に6時を廻って、20分ぐらいいただろうか、コーヒーを飲

### Login

ログインID:

パスワード:

このPCを他の人と共用する

ログイン

Powered by



んで、そこから小田急の地下に行き、子持ちカレイと鯖のみそ煮と、五目おこわと、白菜の漬物と、野菜の煮物を2, 3買ってタクシーで帰宅した。その運転手さんは信号待ちが長い「代々木公園前交番」の四辻を迂回する小路を知っていた。家に入ると、野々歩が仕事を片づけに来ていたので、みそ汁を作って、買った惣菜と一緒に夕食を食べ、彼の映像作品の改作編を見た。このblogを書いている途中で、彼が帰った後、直ぐに麻理が帰ってきた。

23:31:23 - shirouyasu - No comments

先ず、28日のこと。

26日の「中国服のブレヒト」についての書き込みに間違いがあった。「ブレヒトが『昔の人のいっていることをただ伝えるのではなく、そこに新しく自分の考えを加えて述べるのが正しいことなのだ』という考え方をしていたということが、「旧約聖書」と「新約聖書」の関係を引き合いに出して」というのは、パート2に書かれていることだった。引用がいろいろ重なって混乱した。

さて28日は、夕方4時前に家を出て、上野毛に直行、金曜日は「さくら庵」が休みなので、駅近くのもう一軒の蕎麦屋で親子丼を食べて、多摩美へ。海老塚さんと雑談して、それから一緒に、大きい201教室に行ってFTのコース全体の講評会に出た。各教員が自分に印象に残った作品について語る。わたしは「戯(じゃ)くら」というダンスパフォーマンスが、表現は波動だと思っているわたしの考えに近いところがあって印象に残ったと話した。それと、作品の時間について、およそ2日間分の時間、960分を学生数で割ってほしい一人8分ぐらいにして、10人が共同でつくる作品なら80分にするとかというように、持ち時間も平等にしたらどうかなどという話もした。教員の講評の後は、発表会の運営の当たった学生の報告と反省が話された。そして、助手副手の発言もあって、終わりに一言といわれて、学生たちが自分の作品を見て貰いたがるわりには、他人の作品をちゃんと見ない面があるので、もっとお互いの作品を見てもっと話し合った方がいいのではないかといった。

講評会の後、研究室に何人かの学生が話しに来たので、それぞれ順番に話しをして、下校したのは11時を廻っていた。地下鉄で帰宅。リンゴ、牛乳、サツマイモ、夕刊、そして、blogに野菜を煮て食べたことを書いて寝た。

22:33:47 - shirouyasu - No comments

野菜を煮て食べた

28日、ストレッチ体操をする前に長芋、かぶ、ゴボウなど野菜を切って鍋に入れて火を付け、ストレッチ体操をしている間に煮て、風呂に入り髪の毛を洗い、出てから昨年の夏のシンポジウム「土本典昭フィルモグラフィ展」の起こしの原稿に手を入れた。昼は、その野菜に粟餅と茹でたそばを入れて野菜力そばで食べた。美味かった。それから、ちょっと仮眠して4時前に家を出た。

00:59:22 - shirouyasu - No comments

**2005-01-28**

野村尚志君が野菜を送ってくれた。

[21日のアイテムに野村尚志君がコメントで](#)

今度

おいしそうな

野菜を見つkorって

お送りします。「春を待つ野菜の箱詰め」

と書いていたその「箱詰め」が27日の昼頃届いた。箱を開けると本当に野菜が一杯詰まっていた。鹿児島産ごぼう、種子島むらさき、千葉産かぶ、じゃがいも、長芋、新潟産ホワイトぶなしめじ、しめじ、まいたけ、乾燥いも、ミカン、りんご、

あんぼがき、水戸納豆などが入っていた。バンザイ。ありがとう。

それから

長芋（大和いも）を輪切りにして  
鰹だしでシンプルに煮ても  
美味しいですよ。

と書いてあった通りに明日やってみよう。

27日は、12時過ぎに出かけて、上野毛の「さくら庵」で熱いおかめうどんを食べて、汗を拭き、多摩美へ。誰もいない研究室で昨日講評したFTのBコースの学生たちの採点をした。そこにiBookが立ち上がらなくなったと木村さんが来た。CDから起動しても同じ黒い画面になるという。再起動をかけると黒画面に/etc/master.password/ no directoryとか5行出て止まっている。ブートストラップの途中で止まっているのかと思ったが、よく見るとコマンドラインのようなので、unixのlsコマンドを打ってみると、ディレクトリーが表示されたので、カーネルは起動しているけどMacOSが起動できなくなっていると考えて、起動ファイルを探そうとしたが解らない。で、haltを打ってカーネルを停止させて、終了して、インストールCDから起動させたら起動はできた。それで、バックアップを取ってOSを再インストールするしかないかということになった。で、3時から映像演劇学科会議。議題は、卒業判定、入学試験などいろいろ。6時に終わって、来年度のFTBコースの授業案内に書き足して、教務主任の加納さんの研究室に持って行き、食堂でわかめうどんと小カレーライスを組み合わせた「東学メニュー」を1年生の諸岡さんと田中さんの同じテーブルで食べた。彼女たちは29日、30日の1年生の発表会で上演するという話し。どういふのをやるのと聞いたら、最後にどどとセリフがあるということだった。それから、研究室に戻って、昨年度のFTでやった狭い通路路でそこに来た学生たちに踊らせるという島田さんの身体パフォーマンスのビデオを見てから、26日のことをblogに書き込んだ。もう、9時過ぎていて下校。地下鉄の中では居眠りして、三茶を過ぎたと思っていたら澁谷だった。わたしは表参道で乗り換え。そして帰宅、リンゴ、牛乳、サツマイモ、夕刊。それから、このblog。

00:25:20 - shirouyasu - No comments

## 2005-01-27

26日のこと。

26日の朝、トイレで長谷川四郎さんの「中国服のブレヒト」のパート1を読み終えた。このblogの? [1月14日のコメント](#) で渡辺洋さんが「晩年には中国の墨子のテキストを元に共産主義社会を批判する『転機の書』を書きましたが難しくて分かりませんでした。その本を自分なりに読んでいくノートとでもいった本が、長谷川四郎さんの『中国服のブレヒト』で」と書いていたので、同じ長谷川さんの「ブレヒト詩集」を読んで、気になってamazonで買ってページを開いて見たわけ。洋さんが難しくて分からなかった、というのが納得できる文章だ。長谷川さんはブレヒトの「メ＝ティ」という本を東京の本屋で見つけたところから書き始め、この「メ＝ティ」が中国の古代思想家の墨子で、ブレヒトはその墨子に語らせるような形で、自分の考えを書いているということが、今日読み終えたパート1に書かれていた。いま、「かかれていた」を漢字変換したら、最初「描かれていた」と出たが、長谷川さんの文章は、引用を連ねて「描かれていた」という言い方の方がぴったりという感じで書き進められている。墨子という思想家のあり方、ブレヒトの古典や哲学書の読み方、ブレヒトが自分の書いたものの中にどう墨子を取り入れているか、そして、ブレヒトが「昔の人のいっていることをただ伝えるのではなく、そこに新しく自分の考えを加えて述べるのが正しいことなのだ」という考え方をしていたということが、「旧約聖書」と「新約聖書」の関係を引き合いに出して語られていた。パート1は、ブレヒトが墨子に語らせるというやり方を取ったそのやり方でブレヒトに語らせるという、長谷川さんの用意周到な入り口というわけだった。

戦前戦後を生きてきた知識人おじさんの屈折した語り口が面白いですね。わたしはその語り口を頭に残してストレッチ体操をやって、シャワーを浴びて、日録をノート。それから、読み残していたFTの発表作品の清水大輔君の小説「我、水面太鼓を震わせたり」と井部俊郎君の論文「虚構の印象」を読んだ。清水君の小説は、脱線した山手線が線路のつなぎ間違いで反世界に入ってしまう、その反世界と現実の交流を描こうとしたものだった。その反世界からすると現実には「冗談」なんだそう。反世界に入ると山手線を加速器として使って「冗談」を凝縮させようというのだ。井部君の論文には「ノイズとしての映像の可能性」なんてことが書かれていた。昼食は麻理と栗餅入りの野菜そば。ちょっとテレビを見ながら仮眠して、3時前に家を出て多摩美へ。二子玉川で降りて、フィッシュドッグとソーセージドッグとおむすび1個、それに家のオリーブが無くなっていたのでオリーブの瓶詰めを3つ買い、エスカレーターを上って上野毛に行くのが面倒なので、タクシーで多摩美の構内へ乗り付けた。660円。それから一緒にBコースを担当している海老塚さんとドッグで食事して、6時からFTBコースの作品講評をした。終わったら9時を過ぎていて、その後2, 3の学生と話し合い、11時を廻ってしまったので、多摩美の前の環八でタクシーを拾い、三軒茶屋、池の上、三角橋を通過して帰宅。この日の運転手さんは「三角橋」を知っていた。リンゴと牛乳を口にしながら夕刊を読んで、仕事場に行ってblogを書こうとしたら、灰皿ネットがダウンしていた。

20:51:55 - shirouyasu - No comments

**haizara.net**がダウンしていた。

昨夜、帰宅してblogに書き込もうとしたら、haizara.netがダウンしていた。VineLinuxの調子が悪かったみたいです。いま、出かける前で時間がないので、また後ほど。

11:49:59 - shirouyasu - No comments

## 2005-01-26

クロークでのこと。

大したことじゃないんですけど、昨日、東京芸術劇場中ホールで、クロークにコートと鞆を預けて、トイレから戻ったら切符をコートのポケットに入れたままだったのに気が付き、コートを出して貰って椅子の番号を見て席を探した。それから、20分の休憩で、飴が舐めたくなくて、預けた鞆を出して貰って、飴を取り出して舐めながら後半三幕目を見始めた。そして、終演後、4列に並んで五人目でコートと鞆を返して貰った。こんなに頻りにクロークを往復したのは今までにないことだった。ちなみに飴は「ティカロ」という「のどスーッとひんやりさわやかキシリクリスタル 冷たいキシリ層をサンド ミントのど飴 すっきりミルク、さわやかミント 厳選21種のハーブ」の「シュガーレス」と謳われるもの。謳われるといえば、「火山灰地」のチラシの表に「現代に甦る久保栄の名作。壮大な叙事詩に総出演で挑む！」とあり、裏の文章のリードに「日本演劇史に燦然とかがやく金字塔。リアリズム戯曲の最高峰といわれる人間ドラマ。初演から六十七年、前回上演から四十四年、いま劇団民芸が創立五十五周年記念として二部七幕の大作を完全上演する。」とあった。

12:04:21 - shirouyasu - No comments

書くのが深夜過ぎと決まってきた。

25日のこと。池袋の東京芸術劇場中ホールで、民芸の「火山灰地」第1部を1時半から見た。多摩美の卒業生の中地美佐子さんが「逸見しの」という役で出演しているのを見に行った。傘を差して歩いていく姿と、幕切れの恋人と語り合うシーンが印象に残った。彼女は民芸で中堅の役どころを得ているようだった。「火山灰地」は初演が1938年という農業問題を扱った久保栄の作品。リアリズム演劇の古典といわれている。大きな劇場の2階席で、オペラグラスを持って行かなかったの、よく見えなかった。セリフも北海道の方言が多く、解らない部分が多かつ

た。お客は年配の人で満席だった。民芸55周年記念公演だ。4時半に終わって、急いで山手線、東横線、大井町線経由で上野毛へ。さくら庵で親子丼を食べながら、デリバリーボーイのかっちゃんとかとPCの話し。6時に多摩美上野毛キャンパスについて、研究室からAVルームに行って、卒制の全体講評会。教授、助教授がそれぞれ講評した一番後に、わたしは一人時間を食って、40作品の全部について、一つ一つに言及した。教壇から彼ら彼女らに向かって話すのは、これが最後だ。

01:16:02 - shirouyasu - No comments

## 2005-01-25

発表会は終わったが、、、。

24日、トイレで「ブレヒト詩集」を読み終える。訳者の長谷川四郎さんのノートに書き留めて置いた詩の翻訳ということのようだ。ブレヒトを愛読していたのですね。反骨精神。わたしは、読んでいて気持ちがよかった。さて、FTの発表会は昨日で終わったが、作品として提出された小説と詩集はまだ読んでなかったので、スーパーに買い物に行ってから、うどんを茹でてきつねうどんを作って食べて、多摩美上野毛キャンパスに出かけた。400字詰め原稿用紙にしたなら30枚以上はある小説を二つ読み、詩集を一冊読んだ。コンビニで買って行った弁当を食べてから、8mmフィルム作品「僕や僕たちのまわり」の作者の矢田怜子さんが研究室に来て、なかなか解って貰えないというので、ものを作るものの孤独の話になった。思想を共にして通じ合えるということが無くなって、お金をベースにしないと共同作業ができない時代にいるところで、共同する元になるものをどういう風を探していくかということが、現在表現をするものの課題でもあると話した。その後、後片づけしている学生たちのまわりを歩き回って、研究室に戻って、もう一つの小説を半分まで読んで、10時廻って、副手の木村さんと下校が一緒になって、上野毛駅近くの「ナセヤ」でビールを飲み、発表会の学生たちの作品について語り合っ、12時を過ぎたのでタクシーで帰宅した。リンゴとサツマイモと牛乳で夕刊を読んで仕事場でPowerBookG4を起動。

02:07:38 - shirouyasu - 2 comments

## 2005-01-24

多摩美映像演劇学科FT後期発表会4日目最終日。

23日はトイレでブレヒトの詩「仏陀火宅説話」と「老子亡命途上道德経成立譚」を読んだ。仏陀の方の詩に、仏陀が燃えている家の中にいる人に「屋根が燃えているから速く逃げなさい」といったが、その人は「雨が降っていますかとか、風が吹いていますか」などと質問して逃げようとしないので、仏陀はその質問には答えなくてその家から出てきてしまったが、その人はそんな質問などしているうちに焼死するに違いないと話したと書かれていた。わたしは、そんな質問には答えなくてもいいが、何故その時仏陀は有無を云わさずその人の手を引いて逃げなかったのだらと思った。トイレの後はストレッチ体操、シャワー。12時過ぎに家を出て、地下鉄で二子玉回りで上野毛へ。さくら庵で、テレビ中継の駅伝を見ながら天ぷらそば。コンビニで弁当とインスタントみそ汁を買って多摩美へ。「顔よ、勃ったら1m」のiMovieのプロジェクトをQuickTimeムービーでの出力を仕掛けて、映像スタジオへ行って、3本の映像作品を見る。それから本館に行ってモニターで展示している映像作品を見て、3つの写真展示を見て、居合わせた作者たちと感想を話す。4時から鏡の間の沖繩の踊りを取り入れた舞踏を見て、衣装スタジオで急ごしらえの舞台を作ったの演劇の公演「新年の祈り」を見る。6時を廻っていて、研究室で弁当をレンジで温めて食べる。清水邦夫さんと、それから海老塚耕一さんとちょっと会話。7時から見てなかったDV作品を見て、映像スタジオで「交流プログラム」という公開講評会に出る。ゲストに来た卒業生の映像ディレクターの夏目現君が鋭い批評を述べるのを聞いて遅くなったと改めて思う。終わる寸前に、DV作品

の次のプログラムを見にAVルームに行かなければならないので中座する。AVルームでは映像作品3本を見た。それから見てなかったB棟の漫画とアニメの部屋に行き、漫画を読んでアニメを見る。外は曇りが降っていた。中庭にテントを張った部屋のストロボ照明の写真を撮り、研究室に戻ろうとして、途中で映像作品の感想を話していると、仕事が忙しくてまだ提出されてなかった漫画がようやく提出されたと呼びに来たので、詩集や小説が展示されている3号館3階のロビーに行き、その漫画を読んだ。これで、プログラムの関係でどうしても見る事ができなかった映像作品3本と展示2つを残して、殆ど全部の作品を見たということになった。感想は一概には言えない。研究室に戻ると、「女湯」の住吉さんが来て、いろいろと話し、作品について少し自分の考えをしゃべれるようになった話してくれた。そうしたら、何か本が読みたいということだ。わたしはまだ読んでないが「哲学の冒険」はどうだいと紹介した。11時を廻って下校。みぞれ混じりの小雨の中を歩いていて、環八の横断歩道を渡ろうとしたところでタクシーが来たので手を挙げて止めて乗って帰宅。リンゴの皮をむいて食べて、切り餅を一個、レンジで焼いて、スポーツニュースを見ながら牛乳で食べて、その後サツマイモと角きんつば半分を食べた。それから、仕事場でこのblog。

01:40:21 - shirouyasu - No comments

## 2005-01-23

### FT後期発表会3日目。

22日は4時からの講堂を使ったパフォーマンスから見ればいいので、プレヒトの詩「子供の十字軍」を読んだ後、ストレッチ体操をして、風呂に入って髪の毛を洗った。風呂から出てメールなど見ていたらもう12時になって、それからカレーの残りを暖めて早めの昼食にした。牛乳を入れて火にかけたが、ちょっと油断している間に焦げ付きそうになり、また水を入れて火を強めたり、でも、カレーは日が経つと美味しくなる。1時半頃家を出て、代々木上原、表参道、二子玉川、上野毛。コンビニで弁当を買って、多摩美へ。研究室に行ってから、本館の展示を一つ見て、講堂へ。客席を舞台上に作って、講堂の客席全体を使った生の時間で展開する日常の会話と仕草で構成された演劇的パフォーマンス。舞台前の床へ下りる穴を使って、終わりはそこから通行人が出てきて客席後部の非常口からぞろぞろで行く。その後、映像スタジオの上映会場に行き、DV映像作品2本、16ミリフィルム作品2本を見る。女子高生の生態をカラオケシーンから雪の橋の上に繋いでミュージカル風に仕立てようとしたもの。引っ込みの男の自堕落な生活をドキュメンタリー風に撮ったもの。小さいとき亡くなった母親の面影と声を求めて祖母を中心に描いたもの。棺桶を担いで新宿などを練り歩いて、通行人に死についてインタビューを重ね、最後にその棺桶を海浜で燃やすというもの。日常と、肉親と、身体と、死と、問題となり得るテーマが出そろっている。映像作品を見た後、研究室で弁当をレンジで温めて食べる。それから鏡の間で、布を使った光と音と身体のパフォーマンスを見る。客は立つか床に座るようになっていたが、脚が痛くて座るのも立っているのもつらいので、ちょっと我が儘を云って椅子を持ってきて貰う。それが終わって30分して今度は演劇スタジオで、昨日とは別のグループの演劇大村駿作演出「求人」の公演を見た。結婚パーティでの花嫁の妹が花婿の来歴をばらすところから始まって、ブラジルにいた花婿の情人がやってきたり、パーティの司会の女が動物園を経営する花嫁に事故を装って殺された男の恋人だったり、互いに争って乱闘になり、遂に妹がダイナマイトに火を付けて全員爆死するという芝居だった。笑いながら見ていたけど、やる方が、力が入っているから、結構疲れた。見終わって直ぐに下校。電車の中でMPEG-4の本を読んだが眠くなってとうとうとした。帰宅して、リンゴと牛乳とサツマイモと大福半分で夕刊を読んでから、仕事場に来てこのblogの書き込みをした。

00:48:52 - shirouyasu - No comments

**2005-01-22****FT後期発表会 2 日目。**

今日21日はトイレでブレヒトの「アルファベット」という詩を読んだ。そこに、便所に本を持って入った男が24時間出てこなかったという詩があった。例によって、ストレッチ体操、シャワーの後、日録をノートして、12時10分頃家を出て多摩美へ。上野毛のコンビニで、夕食の弁当と握り飯を2個買って、上野毛キャンパスへ。食堂の前を通りかかったのが1時、後15分で閉まるところだったので、券売機できつねうどん270円の券を買っていると、社会人学生の金沢さんが卒制について相談したいの後で研究室に行くという。食堂には誰もいないと思ったら、お母さん学生の津ヶ谷さんと「女湯」の作者の住吉さんがいたので同じ席で食べる。きつねうどんとさっき買ったおにぎり1個。研究室に行ってから、本館に戻って、佐藤さんの鏡とビデオプロジェクターを使ったインスタレーションを見て、講堂に行き、ロビーの展示を5つ見る。2時頃先ほどの津ヶ谷さんの3号館の建物の外壁に飾った家族の写真を見てから、演劇スタジオの演劇の公演木元太郎作演出「ザ7×7夜～見えないドラゴン。あと、羊～」を見る。女優の殺人未遂事件を隠している進行劇団の裏話を、どんでん返しに次ぐどんでん返しで話を進めるといった内容だった。1, 2, 3年生に12月に卒制公演を終えた4年生も混じって、達者な役者たちが楽しませてくれる芝居だった。1年と2年の主役の女優さんたちが可愛い。脇役の2年生も驚くほど上達している。それが終わって、AVルームに行き、映像作品を7本見た。穴戸さんのアニメーション「母紙子紙」に暖かい優しさを感じさせられた。話しは、トイレの巻紙が主役で、「わたしたちはまっとうに使われ流されるのが幸せ」という前置きで始まり、巻かれた紙が母親、引きちぎられて便器の脇の床に散った紙が子供たち、ということで、モップに追われて怖がる子紙たちを心配する母紙が、やさしい便器の協力で子紙と共にまっとうに流されて、ハッピーエンドで終わる。映像を見た後、研究室に戻って、弁当をレンジで温めて食べてから、講堂の舞台だけ使って狭い空間を作った中での身体表現を見る。間近にダンサーを見るの不思議な体験だった。それから、写真スタジオを使つての女子学生のお笑い一人芝居を見る。今日の最後は、田中友海さんが語る落語だった。教室に高座と炬燵を置いた畳の客席を作って、清水大輔くんが汁粉とお茶をサービスしていた。落語の演題は「頭山」で、結構上手いので、拍手喝采だった。研究室に戻ると、先ほどの演劇の連中が来たので感想と寸評を話して、10時を廻って下校、帰宅は11時を廻っていた。帰って、リンゴと牛乳とサツマイモと煎餅を口して夕刊を読み、仕事場を下りてこのblog、書いている内に日付が変わった。

01:05:20 - shirouyasu - No comments

**2005-01-21****19日は多摩美映像演劇、FT後期発表会第1日目。**

ストレッチ体操、シャワーの後、昨夜書いた「曲腰徒歩新聞」の記事をftpする。今朝はすんなりと送れる。そして11時50分に出かけて、田園都市線から上野毛へ。さくら庵で天ぷらそば。12時半だったので昼食の客で店は一杯だった。最初、入り口の席に座って、奥の客が帰ったら、入り口近くは寒いので席替え。そばを食べて、コンビニで夕食用の弁当を買って、多摩美上野毛キャンパスへ。展示会場を見て歩く。昨日までにやっておかなければいけないのに、まだ準備中の学生もいる。2時前に上映会場になっている映像スタジオへ。昨年澁谷の東急ビルが解体される時、その映画館の椅子を昨年の卒業生が貰ってきた、その椅子が設置されて、映画館のような感じになっている。そこで、今日は、長短合わせて、10本の映像作品を小休憩を挟んで続けて見た。7時前に今度はAVルームに行き2本の映像作品を見た。そこで見た住吉奈緒子さんの「女湯」が今日見た映像作品の中で一番面白かった。容貌にコンプレックスを持った女の子が風呂場で書いた手紙を恋人に出そうかどうか迷うという話したが、赤い服を着て赤いポストに手紙を出しに

行って出せないで、川崎大師に行っておみくじを引くと「凶」と出て、占いのおじさんに占って貰うと生命線と運命線がどうのこうの言われて、日本最北端まで行って悪魔にピストルでうたれてしまい、最後はフジテレビ前の自由の女神の前で踊りを踊って終わりになる。容貌コンプレックスに直ったナンセンスが良かった。AVルームで見た後、研究室に戻って弁当を食べようかとレンジで温めたら8時10分前で、衣装スタジオを使っての演劇の上演が8時からなのに気が付き、弁当はそのまま置いて、衣装スタジオに行って20分の短い芝居を見た。そして研究室に戻って弁当をもう一度暖め、インスタントのシジミのみそ汁で夕食にした。食べ終わるともう9時前、9時から鏡の間といわれている演劇演室で行われるダンス上演に行った。これは、岸洋子さんの40分間のソロダンス。波動に立ち向かい打ちのめされ癒されるというような感じで、感じさせるものがあった。その後研究室に戻って、今日見た作品の内、担当の作品のメモをパソコンで一覧表に打ち込んで、11時近く下校、清澄白河行き最終で表参道で乗り換えて帰宅。リンゴを食べ、サツマイモを食べながら牛乳を飲み、夕刊を読みながら、「大相撲全取り組み」を見た。それから、仕事場に来て、このblogに書き込んだ。

明日は第2日目、昼頃出かける予定だ。

02:29:04 - shirouyasu - 2 comments

## 2005-01-20

catnetにftpできない。

「曲腰徒歩新聞」の記事を書き終えてアップしようとしたら、ftpできない。メールも、HP閲覧もできるのに、つまりサーバは生きているのにftpができないというのはどういうことなのだろう。最近、catnetはサーバがダウンしたりどうもトラブルが多ですね。

00:52:32 - shirouyasu - 1 comment

## 2005-01-19

ブレヒト詩集の詩

そういえば、今朝は、ブレヒトの詩を5つ読んだのでした。言葉は平明で分かりやすいように読めるのですが、分からないという感じも残ります。どの詩も、登場人物が出てきます。真似したいと思います。活字が大きいのでどんどん読み進められます。

22:46:12 - shirouyasu - No comments

ようやく針穴写真について書き始める

昨年の秋に[一緒に写真展をやった](#)石井茂さんが今度写真集を出すことになって、そこに寄せる一文を書き始めた。石井さんの写真は針穴写真機で撮った写真なので、針穴写真について書くわけ。レンズを使わない写真の意味合いを考える。先週から書こうと思っていたけど、Webのストリーミング配信ということばかりやっていて手が付けられなかった。昼食の後、書き始めて600字ぐらい書いた。それからちょっと休んで、「曲腰徒歩新聞」の記事に移ってしまった。

今日はストレッチ体操をしてシャワーを浴びて、日録を付けてから、自転車で銀行に家計費を下ろしに行った。幾らかは秘密。ATMで下ろしたが、どうもATMは苦手だ。次々にせがされる感じなのがいやだ。今日も、暗証番号を押し間違えてやり直しになってしまった。それから小田急ガード下の文教堂を覗いて、ストリーミングの圧縮についての本がないかと探したなかった。そして、昨日に引き続いてパルケへ行って、トマトとあぶらげと笹かまぼこと、胡麻ドレッシングを3本買った。帰って、麻理がお祖母ちゃんのところに行ったので、買ってきたあぶらげできつねそばを作って食べた。それから、針穴写真についての文章を書き始めた。明日から多摩美の発表会に連日行くので、この文章は2、3日かけてゆっくり書こう。

そういえば、昨日、野々歩がわたしの仕事場を片づけに来て、山のように積み上げたパソコンやのパーツの捨てるものをより分けた。マザーボードやビデオカードなどパソコンを作り始めてから2, 3年の間に次々にアップグレードして、交換して使わなくなったのがいろいろとあったのだ。パソコンも、中古で買ったDellのマシンは捨てる。最初買ったMacintosh LC 575は捨てるがたいですね。

19:14:20 - shirouyasu - No comments

昨年制作した映像作品「極私的に臨界2003」をアップしました。

昨年のイメージフォーラム・フェスティバル2004で公開したわたしの作品です。

MPEG4に圧縮しましたが、上映時間30分で123.1MBです。圧縮したために画像がかなり荒れてしまいました。

123.1MBを光接続のSafariで20秒ぐらいでダウンロード出来ました。



01:58:06 - shirouyasu - 2 comments

## 2005-01-18

カレーを作った。

昨日、アマゾンで注文した長谷川四郎訳の「プレヒト詩集」が届いて、朝食後のトイレで読み始めた。一編一編が短くて読めそうな感じ。トイレで詩集を読むのは初めて。昨日までは「Flash MX 2004 ポケットリフレランス」か「ロシア民話集」を読んでいた。その前は、やさしい整数論の本。トイレは長くはないが、落ち着くために活字を読む癖が付いている。プレヒトの短い詩を読んで、そうだ、短い詩を書こうと思ったりする。トイレから出て、下着1枚になってストレッチ体操、最初は前に体を曲げ、腕を上げて腰を伸ばす。これをゆっくり3回4回。次に、脚を開いて立って、内側に膝を曲げる。これを30回。そして次に股上げ、声を出して数えて両足で300回。この辺りからシャツを脱いで上半身裸になる。それから、片方の脚を後ろに引いて、膝を屈める。これは両足2回ずつ。次に、椅子に座って、片方の膝を曲げて伸ばして横に広げる。10回ずつ。それから片方の膝を組んで体を捻る。これを2回ずつ。次に立って、椅子の背に掴まって、脚を伸ばしたまま後ろに引くのを5回ずつ。それから、中学高校と6年間、運動会の度にやらされていたラジオ第2体操を一通りやり、腹式呼吸を20回やって終わる。1月から麻理が買ったダイエット用の体重計で体重を計る。このところ73キロを境に、72.8だったり73.2だったりしている。計った後、シャワーを浴びる。そして、仕事場に行って、日録を付けるというのが日課になっている。

今日はその後12時頃、自転車で上原のスーパーのバルケに行き買い物。カレーを作ろうと思ったので、先ず5個138円のタマネギとやはり5個128円の

ジャガイモを買って、302円の徳島産金時1本、311円の千葉産紅あずま1本、198円のレタス1個、2本で228円の長ネギ、2個入り1パック198円のトマト2パック、猫と人間用の食べる煮干し1袋、マーガリンネオソフト、角きんつば1個、小さい栗羊羹1個、エビのかき揚げ2個などを買って、冬の日差しの中、逆光をまぶしく感じながら帰った。帰って、麻理がそばを茹でて、二人でエビのかき揚げの天ぷらそばで昼食。食後、一休みして、カレー作りに取りかかった、ジャガイモの皮をむいて切り、にんじんを切り、タマネギをを刻んで下拵えを終える。アルミ容器の蓋で挟んで解凍してあったオーストラリア産の牛肉をマーガリンで炒めて、そこにタマネギとにんじんを入れて更に炒め、水を加えて煮る。その間に、サツマイモを切って、これは別の鍋で茹でる。野菜が煮えるまで、寝室のベッドに寝転がって警官と刑事が対立するテレビドラマを半分仮眠しながら見て、20分ぐらい経って、カレーの鍋のアクを取り、ジャガイモを入れて煮て、それからカレーのルーを入れて居間に行って夕刊を読んだ。夕刊を読み終えて、カレーも出来た。そして、仕事場でこのblogを書き始めたら、野々歩が来て仕事場の片付けを始めたので、パソコン関係のボードとかカードなど捨てるものと残すものを分ける。そこに空調機の点火が悪くすごい音が出たので頼んでおいた東京ガスの人に来て、見て貰ったが、調子は直っていて、カバーを外したが何でもなく、書類にサインを求めて帰っていった。ということで、現在7時30分過ぎたところ。

19:36:26 - shirouyasu - No comments

## 2005-01-17

### 3年の井上さんが追いかけてくる

衣装デザイナーの加納さんと下校して、上野毛駅の改札を入ったら、3年の井上さんが追いかけてきた。彼女たちのグループはまだ音の編集が終わってなくて、締め切りに間に合わなくてご免なさい、今日中に仕上げます、とわざわざいうために、わたしが帰ったということを知り友人の齊藤邦彦君から聞いて、走って追っかけてきたのだ。上映には必ず間に合わせることに改札で別れた。そして家に帰ったら電話が掛かり、施設が閉まるまでに仕上がらなかったで、明日必ずと、涙声、頑張って仕上げなさいと励まして電話を切った。

23:47:11 - shirouyasu - 2 comments

### 今日は作品の提出日。

わたしはFT (Field Trial) という表現演習の授業群の2, 3年生のBコースを担当していて、この20日からの発表会を控えて、今日がその作品の提出日になっている。12時半を廻ったところ、二子玉川駅のホームから多摩川越しに丹沢のうっすらと雪を被った山稜を見ることができた。上野毛のさくら庵で天ぷらそばを食べて、コンビニで夕食の弁当を買って、多摩美の研究室へ。2時から201教室で、作品提出の受付をする。DVテープで提出する場合は、机の上に小型のテープデッキを置いて、頭のところを再生して、タイトルがあるかどうかを確かめ、つまりちゃんと出来ているかどうかを確かめる。面白そう、と思っても、テープは返して発表会の上映に備えさせる。写真の場合もざっと見る。展示作品は大きくて持ってこれないものもあるから、作品の内容を記した紙を出させる。担当する50人のうちまだ完成していないという者が数人いたが、まあ、発表会には間に合うだろう。

2, 3年全体のFT後期の発表会は「いま俺、やるっきゃない」というタイトルで、作品数は80を超える。提出をチェックした後、20日か23日までの4日間で、まず自分の担当の学生の作品を見て、それから出来るだけ沢山見るためのスケジュールを作った。上映、上演と時間が決まっているプログラムを縫って見る作品を決めて行く。午後から9時過ぎまで、いろいろと組み合わせても、いくつかの作品はどうやら見れそうにない。後で、テープを借りることにしよう。ということで、研究室にいて、9時半を廻った。

21:33:10 - shirouyasu - No comments

**2005-01-16**

ビデオ「多摩美上野毛キャンパス2003年晩秋」をアップした。

一昨年の晩秋、日曜日に鍵開け当番で出勤して、卒業制作の発表会の準備をしている学生たちを撮って、編集したビデオ。Final Cut Proで編集したムービーをCleaner 6でmp4に変換した。57MBという大きさが心配です。一応テストでは、光接続でSafariもIEも2, 3秒でダウンロードできた。



15:41:37 - shirouyasu - 6 comments

**2005-01-15**

一日、ゆっくり過ごす

朝から小雨、雪になると予報では言っているが、暗くなってもまだ雪になっていない。今日は、家にいてゆっくりと過ごした。8時頃目を覚ましてトイレに行った後、9時過ぎに起床、朝食。1枚のライ麦パンをトーストして、マーガリンを塗ってハムを乗せ、マスタードを付けて二つ折りにしてレタスを挟む、それにレタスとトマトとパプリカに胡麻ドレッシングをかけたサラダ、そこにブラックオリーブ2個グリーンオリーブ3個、牛乳と蜂蜜を入れた紅茶をマグカップ3杯、これが決まりのわたしの朝食。全部自分で用意する。麻理が日本語学校に勤めるようになってから朝食は自分で作るようになった。朝食を食べながら、新聞を3紙読む。NHKが介入を全面否定して、朝日に抗議したという東京の記事、日経の「病院のベッドに管を何本も入れた終末期の患者はスパゲティ症候群といわれる」という記事の一文、そして朝日の「Mac mini」の記事。朝刊を読み終わってトイレに行って、戻ってストレッチ体操、それからシャワー。そして仕事場に降りて、「日録」をつけるのだが、今朝は、13日からの分を書こうとして、10日のところに11日のことが書かれているのに気が付いて、ページのズレを矢印で示して、12日のページに13日の分を、13日のページに10日のことを書き足した。つまり、今日書いた分は、10日13日14日の分ということになる。書き終わったらもう2時過ぎだった。で、一昨日麻理が食べなかったエビ天を使って天ぷらそばを作って食べた。麻理は今日も昼前からお祖母ちゃんのところに行った。昼食後、前に買ってあったカボチャを煮ることにした。出汁の入っためんつゆと砂糖と塩で味付け、その傍らでサツマイモを茹でる。煮ている間、寝室のベッドに横になりテレビドラマを付けてちょっととうとうとする。時間を見計らって火を止める。またベッドに戻って、今度は相撲の中継を見ながら仮眠。高見盛が勝つのは見たところで居間のテーブルに戻って、カボチャの水がなくなるまで煮ようと再び火を付けて、相撲中継を見ながら夕刊を読む。臭いと、思ったら、カボチャが焦げ始めていたので慌てて火を消す。焦げは大したことない。味はちょっと塩辛かった。まあでも、最後のところで失敗。また煮てみよう。麻理が帰ってきて、塩は入れないのよ、と言われ

た。若の里、連敗脱出、栃東も勝った、魁皇は負け越しで綱取りの望みが絶たれた。麻理は、わたしが煮たカボチャと買って来たヒレカツでご飯をかき込んで、何かの会に出かけた。夕刊を読み終わって、仕事場に来て、このblogを書き込む。ドアを開けてみたら、風が冷たい。7時を廻った。一人で夕食にしよう。

19:19:00 - shirouyasu - No comments

## 2005-01-14

### 帰宅して

研究室でやったiMovieからiDVDへのDVDディスク作りは、恐ろしく時間が掛かって、5時頃からはじめて9時まで掛かってしまった。でも、まあ、DVDデッキで見ることができるものは出来た。7時頃、北千住で買ったおにぎり2個の夕食。それから、blogを書き終えた後、プレヒトのことが書いてあるサイトを探してちょっと読む。そして、丁度DVDの焼き込みが終わったところに、4年の石田君が来て明日就職の面接に行くと話しに来た。そこに、谷口君が映像作品が出来たと持ってきたので、それを一緒に見た。一応出来ていたが、単調なところがあるので月曜の締め切りまでに手直しするようにと云った。9時半を廻って下校。地下鉄で居眠りしながら帰宅。リンゴを食べて、温かい牛乳とサツマイモ一切れと羊羹と煎餅を口にしながら、夕刊を読んで、読み終わってから仕事場でこのblogを書き込んだ。

23:47:04 - shirouyasu - No comments

### おばあちゃん（麻理のお母さん）のお見舞いに行く

今日は朝食後のストレッチ体操をしないで、自転車で上原の小林医院に行って血圧測定の診断の後、インフルエンザの予防注射をして貰った。血圧は140～70ほど。降圧剤その他の薬の処方箋を貰って、近くの慶応堂薬局で処方して貰う間、小田急ガード下の文教堂書店に行ったが、何も買わないで、薬局で薬を買って、パルケの分店で麻理に頼まれた桃の缶詰を買い、本店でいつも朝食に食べるライ麦パンと、伊予柑と、羊羹を買って帰った。わたしが買った桃の缶詰は黄桃だったが、おばあちゃんが食べるのは白桃でなければいけなかったのだ。今朝の朝食は昨日パンをかうのを忘れたので、残りの餅入りのコーンスープとサラダと紅茶だった。

今日は麻理と一緒に北千住の愛里病院に入院しているおばあちゃんのお見舞いに行くことになっていたもので、小林医院から戻って、12時過ぎに家を出た。わたしは歩くのが遅いからと、メールしている麻理より先に出かけたが、井の頭通りまで来て後から来ないので、高くなっている井の頭通りに立って、彼女が冬の日差しに光る道を歩いてくるのを逆光の中の影の姿で見ている。代々木上原駅から千代田線で北千住へ。車内では、おばあちゃんが入るかもしれない養護施設の話をした。おばあちゃんが入院してにわかにそういう話題が多くなった。北千住に着くと、丸井の地下の食料品の売場で、先ず、白桃の缶詰を買い、食べたいといっていたというまぐろのとろの寿司を買い、わたしたちが食べるおにぎりを買って病院へ行った。病院は、飲み屋が立ち並ぶ道を抜けて踏切を渡った、JRと東武線に挟まれたところにあった。おばあちゃんは点滴中だったが、比較的元気な話もできた。持って行った寿司は食べないというので、麻理とわたしが食べた。わたしは30分ぐらいおばあちゃんのそばにいて、麻理を残してお暇した。病院から駅まで、来たときとは違う、線路の反対側の道を歩いて北千住の駅に出て、半蔵門線と田園都市線に直結している東武線に乗って座ったまま二子玉川に来て、乗り換えて上野毛へ、そして多摩美の研究室で、昨日途中で止めたeMacでのiMovieからiDVDへ書き込みを始めて、eMacの脇に置いてあるiMacを久しぶりに起動して、この書き込みをしているところです。窓の外はもうすっかり暗くなった。

17:51:54 - shirouyasu - No comments

### サツマイモを茹でて食べて、ほっと一息

すれすれで13日のアイテムを書き込んで、トイレに行って外出着から着替え

て、外に出してあったサツマイモを2本、流しで洗って切って鍋に入れてガスに火を付けてから、リンゴの皮をむいて手に持って広間のテーブルで夕刊を読み始めた。リンゴの後は牛乳ときんつば半分と海苔せんべい2枚。7時過ぎに多摩美上野毛キャンパスの食堂でハヤシライスを食べながら何も食べてなかったのだからお腹が空いていた。それで、夜食代わりにサツマイモを茹でて食べようと思ったわけ。サツマイモ一切れ半食べながら、テレビの大相撲全取り組みをちらちら見ながら夕刊を読んだ。NHKの番組に政治介入があったことを内部告発したディレクターの記者会見が報じられていた。受信料不払いの増加、会長辞任の話、紅白の視聴率の低下、そこに持ってきて自民党代議士の介入、新聞の読者としてNHKの話題は更に面白くなりそう。

ずっと昔わたしはNHK職員だったことがあるが、職員でありながら反NHK的だった。そんなわたしに給料を払ってくれていたんですね。止めてから、朝のテレビ小説や大河ドラマは欠かさず見て、Nスペで知識を得て、国民教育のイデオロギーを見据えておこうなんて思いを持っている。NHKで16ミリフィルムの撮影を身につけて、個人映画作家になり、大学で給料を貰えるようになったわけで、善し悪しはともかく、わたしはNHKを無視できない。

13日は、12時頃自転車で漢方の薬局に行き、軟骨を増やすというサプリメントと視力に効くというブルーベリーのサプリメントを買って、本屋で「MacPower」を買って、スーパーのパルケでレタスとトマトと牛乳とエビの天ぷらを買って帰って、そばを茹でて天ぷらそばを作って昼食にした。麻理が日本語学校に教えに行く日は、昼食は一人で作って食べる。昼食後、地下鉄、田園都市線、大井町線で上野毛で降りて多摩美へ行った。4時から教授会、入試の日時の説明、その後、映像演劇学科の会議、来年度の施設予算のことなど、そして会議が終わってから食堂に行ってハヤシライスを食べたのだった。それから、9時過ぎに学科のWebの運営に付いての話があるというので、研究室でiMovieからiDVDへ焼こうとしたが、途中で止めた。Webの打ち合わせが終わって下校したのが10時半過ぎ、上野毛の駅のホームにいた3年の大村君と一緒に電車に乗り、20日からのFTの発表会でやる芝居の話を聞きながら帰り、表参道で別れたのだった。

01:36:47 - shirouyasu - 4 comments

## 2005-01-13

いま帰宅したところ

表参道のホームに立ったとき、腕時計を見たら11時を回っていた。いやっ、今日はまだblogに書き込みしてない、12時前に新規アイテムで書き込みしないと、13日の項が飛んでしまう。こりゃいけないとばかりに、急いで歩いて帰ってきた。代々木上原の駅に着く前に、車内を見渡したら、5人の人が本を読んでいて、3人の人が携帯を見ていて、一人がゲームをやっていた。それを頭に置きながら歩いて来た。これで兎に角、13日のアイテムは埋められた。

23:42:43 - shirouyasu - No comments

## 2005-01-12

「曲腰徒歩新聞」を更新

4日以来、blogに熱中して、「曲腰徒歩新聞」を更新してなかった。棲み分けというか、使い分けるのがまだ曖昧だ。こちらはアイテム、つまり箇条書き、「曲腰徒歩新聞」の方はトピックス、つまり話題、話の種ということになるのかしら。「曲腰徒歩新聞」の今日の話は、blogとストーリーミング。blogは、このブログのアイテムを見てメールをくれた間瀬さんの、天秤で豆腐を売り歩く人の写真が付いていたそのメールの全文を載せた。

「曲腰徒歩新聞」に取りかかる前に、ブレヒトと三十年戦争について先ず百科事典で調べて、それからWebで検索して調べた。フリー百科事典「ウィキペディア」に比較的詳しく載っていた。それから、ブレヒトの本が家にあった筈だと思って探したら、本棚の上の方に千田是也編集の「ブレヒト戯曲選集」全5巻1961年白水社発行があって、まだ後2、3冊ブレヒト関係の本があった。三十年以上前に買った本ですね。

22:53:17 - shirouyasu - 3 comments

そういえば、昨日の夕食は、

そういえば、昨日の夕食は、シアターXの打ち合わせの後、両国の中華店、たしか「青葉」だったかで、加納さんと木村さんと一緒だった。わたしは中華丼だった。それだけのこと。

22:27:55 - shirouyasu - No comments

「母アンナFとその子供たち」のシアターXと多摩美の提携企画の打ち合わせ

今日、11日の昼は、麻理がお祖母ちゃんのところに行ったので、大根と里芋の煮込みうどんを作って食べた。それから、出かけて、地下鉄半蔵門線で錦糸町に行き、「KIT」でこの前に行って買ったマグカップが気に入ったので、壊れたときの予備としてもう一つ買って、JRで両国へ。4時、時間ギリギリにシアターXの事務所に着いた。そこで、シアターXの上田さん、間宮さん、家入さんと、多摩美の加納さん、木村さん、それにわたしと、シアターXが『2年がかりのブレヒト的ブレヒト演劇祭』と一つとして企画した「母アンナFとその子供たち」の上演企画を、多摩美の映像演劇学科と制作提携して、「共同創造」しようという打ち合わせをした。「母アンナFとその子供たち」の上演は、イスラエルの世界的に活躍する演出家ルティ・カネルさんの演出、吉田日出子さんの主演で、4月1日から7日までシアターXで行われるが、その稽古場として、春休み中の多摩美映像演劇学科の演劇スタジオを提供して、スタッフに学生たちを参加させて貰ったり、見学させて貰ったりすることで提携しようということでした。今日の打ち合わせでは、学生たちにどう参加を呼びかけるか、参加する学生たちの役割はどういうことになるか、この企画を映像化する基本方針などが話し合われた。

わたしはブレヒトについては全く知らないし、劇の舞台になっているドイツの三十年戦争についても皆目知識がない。すべて1から勉強ということになる。で、帰り道に、新宿で降りて小田急10階の三省堂でブレヒトについての本がないかを見たが、一冊も無かった。では、三十年戦争について調べようと、木村靖二編「ドイツ史」と池内紀監修の「読んで旅する世界の歴史と文化 ドイツ」を買ってきて、三十年戦争とブレヒトに関するところを読んだのだった。十七世紀の三十年戦争で、ドイツ全体の人口が戦前1600万人だったのが1000万人になり、人口が半分になった地方もあったのだと知った。今世紀の2度の世界大戦より犠牲は大きかったという。「母アンナFとその子供たち」はその時代を子供を失いながら生き抜いた母親の姿を描いたのだということがわかった。ブレヒトの本は書店に無かったので、アマゾンで注文した。書いているうちに日付が変わってしまった。

それから、豆腐屋さんのメールをくれた人から返事が来て、掲載をOKしてくれたので、「曲腰徒歩新聞」に掲載します。

00:33:49 - shirouyasu - 2 comments

**2005-01-11**

実は昨日、、、

実は昨日、このblogの6日の、「わたしは詩を書くことのコミュニケーションとしての直接性を求めたいと思うと言う。」というわたしの発言に応じる形で、わたし

のファンだという見知らぬ人からメールが来て、そこに「コミュニケーションとしての直接性」の例として、天秤棒で担いで豆腐を売っている人の写真と、その写真を持って再び訪ねたということが書いてあった。面白いと思って、「曲腰徒歩新聞」に載せたいと思い、その旨を伝えて承諾を求めたが返事が来ないのが気になります。わたしは詩集の著者として、一応「有名人」で、読者という立場になると、誰もが「無名人」となる。詩という表現の「詩を書くことのコミュニケーションとしての直接性」といっても、本というメディアを挟んだ、この「有名」「無名」の関係では、そこに意識の差が生まれる。彼のメールは、その辺りのわたしのある種の脳天気なところを突いているような気がしますね。

昔のことになりますが、20歳の頃、鮎川信夫さんに手書きの詩集を才能があるかないか判断し欲しいという手紙を添えて送りつけて、鮎川さんに会ってもらえたことがあった。鮎川さんは手元に送られてきている沢山の詩集を見せてくれて、詩を書く人は沢山いるとだけいわれた。このことを、後年、鮎川さんにお会いしたとき話したら、鮎川さんは覚えていませんでした。20歳の頃、浪人生活3年で受験勉強もろくにしないで、詩を書きながら、自分は一体どうなるのかと不安だったのでしょね。個人の営為として詩を書きながら、その社会的な意味合いについて漠然と感じていたのでしょう。

詩を書けば、多くの人に読んで貰いたいと思い、更に詩を書くことによって有名になりたいと思ったりもする。画家とか、デザイナーとか、小説家とかなら何とか食べて行かれるけど、それもごく限られた人たちだ。表現が、市場で価値を持つということはどういうことなのか、その価値のあり方が、表現にどういう意味を持つのか、その辺のところを何とか、考えてみたい気がします。

12:55:49 - shirouyasu - 5 comments

## 2005-01-10

### iMovieの「顔よ、勃ったら1m」の編集、やり直し

休日の今日も多摩美に行って暗室の鍵を開けた。出かける前に、先ず、スーパーのマルゲに行き、リンゴとイチゴと黒豆とレタスとかき揚げの天ぷらを買って、帰りに上原商店街でチューリップ鉢、水仙鉢を買って自転車でぶら下げて帰ってきた。そして、かき揚げで天ぷらうどんを作って食べてから出かけた。コンビニで弁当を買って、多摩美に着いたのは3時をちょっと過ぎていた。暗室と工作スタジオの鍵を開けて、研究室で、編集した「顔よ、勃ったら1m」をテープに書き出すとして、iMovieを起動したら、プロジェクトの編集が全部壊れていた。昨日、iMovieからDVDに直接書き出すとして上手くいかなかったが、それで壊れてしまったらしい。しかないので、新規プロジェクトを起こして編集のやり直し。42個のムービークリップを読み込むの3時間ぐらい掛かってしまう。その間、一昨日、読み残した「母アンナと子供たち」の台本を読了した。原作を、オブジェクト演劇用に構成し直してあるらしいが、戦争を生き抜く母親の話として、庶民はそれなりに犠牲を強いられるが、逞しく生きて行く姿が伝わってくる。7時過ぎに弁当をレンジで温めて食べて、編集を終えたのが8時半過ぎだった。それから、テープに書き出す。途中で9時を回って、作業している学生たちを止めさせて、暗室と工作スタジオ、それから昼間助手の内野君が学生のために開けてから帰っていったフィルム編集室、映像演習室などの鍵を閉める。部屋に戻ると書き出しが終わっていた。さて帰るかと思っていると、工作スタジオに忘れ物したという2年の下司さんがきたので再び工作スタジオに戻ってドアを開けてまた閉める。鍵の開け閉めは教員がやるという決まりになっているから、学生に鍵を貸すことは出来ない。そして、eMacの電源を落として、研究室の鍵を閉めて下校した。帰りの田園都市線の中でちょっと居眠り。帰宅して、「ネーチャーゲーム」の講習の最終日に行った麻理の話聞きながら、リンゴとイチゴを食べ、暖かい牛乳を飲んだ。

このテープを、翌日再生した見たら、ひどい画質だった。Web用の320×250のサイズに圧縮したファイルを使ったせいで、ビデオのモニターで見ると画質が悪すぎるのが分かった。

23:53:36 - shirouyasu - No comments

## 2005-01-09

### iMovieで「顔よ！勃ったら1M」を編集

そばを茹でて食べてから多摩美に鍵開けに行こうと思っていたのですが、QuickTimeのストリーミングのテストで時間がたってしまい、そばは食べないで出かけた。代々木上原駅前の蕎麦屋で食べようと思ったら、休みで、そのまま地下鉄で二子玉川廻りで上野毛まで行って、久しぶりにさくら庵で天婦羅そばを食べた。年賀だといって七味唐がらしをくれた。昨日は上原の蕎麦屋でやはり年賀で七味を貰ったから、今年は新年早々七味を2個も貰ったことになる。多摩美に行って、鍵は、フィルム編集室はほしのあきらさんが来てすでに開けてあったので、暗室と鏡の間と準備室を開けて、研究室でiMovieの昨日の続きで「顔よ！勃ったら1M」を編集した。Photoshopでタイトルをポスターの文字から抜き出して画像にするのに結構時間がかかった。またクレジットタイトルをスクロールさせるのにも手間取ってしまった。7時ごろ、さくら庵で頼んでおいた親子丼の出前が来て、食べていると、3年の中村さんが来て、発表会に提出する詩集の構成の仕方を話した。佐藤さんの鏡を使ったインスタレーションを覗いて、津ヶ谷さんの写真を見ていたら9時になって、冷たい風が吹く中、B棟の暗室まで鍵閉めにまわって、地下鉄で帰宅した。

23:56:21 - shirouyasu - No comments

### Blogは何処からでも書き込めるのがいい、という実感。

研究室でeMacから書き込んで、書き込み自在を実感。書き込みの後、9時を回って、鏡の間、暗室、演劇スタジオ、録音室、フィルム編集室、踏み込み、映像演習室、ロッカールーム、PD室と鍵を掛けて、校門のガードマンに明日も来るから3号館の入り口の休日には閉まって鍵を開けて置いてとあって、3年の井上さん、佃さん、二宮君と一緒に上野毛の駅から二子玉で田園都市線に乗り換えて帰宅した。昨日買ったスニーカーは履きよい。

そういえば、出かける前に、郵便で来た中村葉子さんの「ピラのある生活 一中村葉子の詩街頭ばらまき版13号」を読んだのだった。「何もすることがない。途方に暮れてます。」なんてことが書いてあって、「降りたことのない駅で会いましょう」という詩が乗っていた。

降りたことのない駅で降りてみる

ただなんとなく

電車を降り

用もなく

降りたことのない駅の

改札を抜けて行く

希にそんな気持ちになる

といったような詩句が展開している。無用のアクションが感じられて、玉野君の映画に通じ流ように思える。イメージと違って、身体が見えないので、寄る辺なさが切実に感じられてしまう。中村さんの「ピラのある生活」は「[ポプラビーチ](#)」で見ることができます。

00:19:41 - shirouyasu - No comments

## 2005-01-08

今は夜の9時前、多摩美上野毛キャンパスの私の研究室にいる。

午前中、ストレッチ体操の後、シャワー。起きて新聞を読んでいるときは浮かない気分だったが、ストレッチ体操をやると気分が動いてくるのが不思議。朝から麻理がネーチャーゲームの講習会に行ったので、昼前、スーパーのバルケに行きパン、リンゴ、トマト、レタス、塩など買ってくる。昼は、一人でみそ汁と昨日買ってきて残っていたタケノコご飯。2時前に、昨日買ってきたスニーカーを履いて出かける。代々木上原から表参道乗り換えで、また二子玉川で乗り換え、上野毛へ。コンビニで弁当を買って、多摩美の研究室へ。3時の約束だったが、2時半にもう斉藤邦彦君が来ていた。暗室の鍵を開ける。彼は、16ミリフィルムを手現像して様々な色を出すというフィルム作品を作っている。その後、佃さんと福村さんが16ミリフィルムの編集に来る。そして写真をプリントする津ヶ谷さんも来た。2年生が鏡の間といわれている演劇演習室を開けてというので開ける。また3年生の二宮君と2年の山崎君が映像演習室を開けてというので開ける。そして、今日わたしは研究室に行くという昨日のこのBlogをみたという3年の佐藤さんがやってきて、教室で鏡を使った投影インスタレーションのテストをした。卒業生の見木君が自分の写真が載ったというエロチックな花のポストカード集を持ってきた。

わたしは彼ら彼女らの相手しながら、「顔よ、勃ったら1m」のQuickTimeファイルをCD-Rの焼いて持ってきて、研究室のeMacにコピーして、iMOVIEで編集したり、今度参加することになったシアターXの企画プレヒト原作の「母アンナFと子供たち」の上演台本を読んでいた。買って来た弁当を食べて、ほぼ編集が終わったところで、これを書いたところです。

21:11:47 - shirouyasu - No comments

## 2005-01-07

髪の毛を切って貰ってから、スニーカーを買いに行った。

もう生活は普段の習慣に戻った。朝食を食べながら東京、朝日、日経の順で3紙の朝刊を読んで、トイレに行って、それからストレッチ体操をやる。そして今日は、いつもはシャワーを浴びるのだが、麻理に髪の毛を切って貰って、風呂に入って頭を洗った。それでももう昼近くなる。メールに返事を書いていると、麻理が残った餅で雑煮の昼飯を告げる。それから、年賀状の返事をプリントして、それを持って、代沢に住んでいる池の上の駅で息子の野々歩と待ち合わせ、一緒に下北沢に行ってStepでスニーカーを買った。どうもスニーカーなど若者たちが行くような店には、自分が老人であることを意識してしまって一人で行くのが苦手で、付いて行って貰ったというわけ。付いてきてくれたので、彼と彼女のスニーカーも買ってやった。帰り道、池の上の近くで、夕飯の惣菜に子持ちカレーの煮付けや野菜の煮物を買った。

今夜は、「顔よ、勃ったら1m」のムービーファイルのアップを出来る所までやって、明日は多摩美の上野毛キャンパスに学生が使う暗室などの鍵開けに行く予定。キャンパスが開くのは11日からなのだが、1月20日からの発表会に間に合わせるための制作をしたいという学生の要望に応じて、担当の教員であるわたしが鍵を開けなければならないというわけ。

18:26:17 - shirouyasu - No comments

## 2005-01-06

午後、三浦淳子さんと会い、その後、書肆山田の鈴木一民さんと会う。

午後2時半、澁谷「TOP」で三浦淳子さんと会って、もっと自分の主張を鮮明にした方がいいと話す。また、そこで過ごした時間を感じられるように編集して欲しいとも。施設で作って売られている刺繍のテーブルに置く布をお土産に貰う。施設の

あるメーサイは、バンコクから飛行機で1時間、車で数時間かかる国境に近い所とのこと。

鈴木一民さんとは、池袋の「珈琲茶房」でわたしの同僚の石井茂さんの写真集に載せる文章の打ち合わせ。それから、うどんと酒の店「すずりや」でお酒を飲んで、いろいろな話しをした。次号の「るしおる」に詩を一つ書くこと。詩についてのわたしの現代的な意識の持ち様について、現代詩不感症のわたしということ。わたしは詩を書くことのコミュニケーションとしての直接性を求めたいと思うと言う。誰に向かって書いているのか分からない様な書き方で書かれた作品は、詩人をブランド化して、その詩を商品化してしまっているのではないか、という意見を語る。なんで人は詩を書いて認められたがるのか、売れもしない詩集に何で定価2884円なんて付けるのか。そういう金銭に換算するやり方と、紙幣という金銭の比喩とが、詩の言葉に使われる比喩と重なるのではないか、その比喩で語られる内面という神話の絶対性によって難解の棺の中で詩は死んでるのではないか、などなどの独断的な話しをする。

23:41:29 - shirouyasu - No comments

ドキュメンタリー映像作品「空とコムローイ」を見た。

昨日は、カボチャを煮てから、三浦淳子さんのドキュメンタリー映像作品「空とコムローイ」を見た。三浦さんは多摩美の卒業生。もう何年か越しに撮っているドキュメンタリーで、タイのメーサイというところの神父が運営する貧しい子供たちを預かって教育する施設を撮っている。編集し直したので、意見が欲しいというので見て、今日会って話すことにしている。貧しい山間地に行くシーンがあったが、舗装されてない道を行き、山の斜面に集落がある風景は、わたしが子供の頃疎開した福島の中の山の風景に似ていた。

それを見た後、「顔よ、勃ったら1m」のDVテープからの読み込みと灰皿町へのアップロードで、午前2時になった。20個のQTファイルの圧縮を仕掛けてベッドに。そうそう、わたしは寝る前にリンゴを食べて牛乳を飲むのが習慣になっているのです。

13:11:22 - shirouyasu - No comments

## 2005-01-05

スーパーで買い物

年賀はがきの返事を出すついでに、スーパーのバルケに行ってお買い物。今朝、暮れの片づけで出たゴミが6袋もあって、ゴミ袋が無くなったのでゴミ袋、猫の餌、牛乳2本、蕪3個、リンゴ紅玉2個、白菜の漬け物、干した小魚、黒豆の煮たの、胡麻入りのサラダドレッシング、天ぷら桜エビのかき揚げ1つなどを買って、自転車の前のかごに入り切らないので、ゴミ袋と猫の餌を後ろの荷台に紐で括りつけて帰った。風は冷たかったが、空は晴れ上がって、帰りは日差しがまぶしかった。

15:34:40 - shirouyasu - No comments

[「顔よ、勃ったら1m」](#)の公演記録ムービーを追加

灰皿町の住民として、ファイル容量が大きいので気が引けるけど、30メガとか100メガとか限度があるプロバイダーのサーバではできないけど、此処では許されそうなので思い切ってアップし続けようと思います。もう既に30メガを超えているようですが、鱗造さん、よろしいでしょうか。

01:45:59 - shirouyasu - 4 comments

## 2005-01-04

Windows98のIEとQuickTimeをアップグレード

「顔よ、勃ったら 1m」の公演記録のクイックタイムムービーの容量が大きいので、ダウンロードの時間が気になって、まだISDNに繋いだままになっているWindows 98のIEで開いてみた。3.1MBのムービーは10分以上掛かって、Sorenson Video 3 Compressorの圧縮が展開できなかった。音は聞こえるが画像がでない。そこで、まずIEのアップグレードをして、QuickTimeのアップグレードしたら見えるようになった。WindowsXPでも、QuickTimeをインストールしなかったので見るできない。で、これもアップグレードした。98のアップグレードはISDN接続なので非常に時間が掛かって、結局、これだけのことで、半日潰れてしまった。もう、外は暗くなっている。転送遅く、日が暮れる、やれやれ、という感じ、です。

18:42:24 - shirouyasu - No comments

## 2005-01-03

### 初詣と散歩

渡辺洋さんの「[f451掲示板](#)」の洋さんの「元旦に書いたこと」にコメントを書き足してから、代々木八幡神社へ初詣に行った。毎年行っている。今の家を建てたとき棟上げ式の祈祷ををして貰ったので、まあ、氏子になってしまったという気持ち働いている。30分ぐらい並んで待って、賽銭箱に500円硬貨を投げ込んで、鈴を鳴らし、柏手を打って礼拝した。その後、裏の道を歩いて代々木公園に行った。木立の向こうに新宿の高層ビルが夕日に光っていた。噴水のほとりの遊歩道で若い人たちが大音響を出して、集団でダンスをしていた。わたしは、ポケットにあった鉛を舐めながら、ベンチに座って遠目に暫く見てから、歩道橋の上で日没を眺め、NHKホール脇を歩いて、東武ホテルの裏を通過して東急ハンズの前に出て、東急本店の地下の食品売り場に行き、紀伊国屋でオリーブの瓶詰めを買い、歩き疲れたので、タクシーで帰宅した。980円だった。澁谷近辺は車は渋滞して、歩いている人も多かった。人々の姿を頭越しに見て、新聞に特集されている「少子化」と「経済の衰退の予想」の記事を思い出していた。

22:30:40 - shirouyasu - No comments

### 「顔よ、勃ったら 1m」の公演記録をWebにアップ

昨年の12月の多摩美映像演劇学科卒制公演の「顔よ、勃ったら 1m」をビデオにとってあったので、それを、「Shirouyasu\_Haizara」にアップしようと思いついた。ビデオからパソコンに取り込み、圧縮する。取り込んだだけだと、1分3秒のムービーファイルは239MBもあるが、「Cleaner 6」で圧縮すると3.1MBになった。とりあえず、昨日は、開幕前までをアップした。



[公演記録へJump](#)

14:23:56 - shirouyasu - No comments

**2005-01-02**

1月1日の新聞を読む

2日なって、3チャンネルの「小柴昌俊教授の楽しむ最先端科学—量子物理学〜目で見た！量子の世界」で、東京工業大学教授の上田正仁さんの講義を見ながら、昨日読んでなかった新聞に目を通した。光が粒子であり波だということを、スリットと干渉の実験でわかりやすく説明していた。消滅して爆発するという「ボーズ・アインシュタインの凝縮」が面白かった。

新聞は、少子化問題を朝日、日経、東京のいずれも取り上げていた。団塊の世代の家核族の行く末ということも。自民党が60周年なんですね。衰退という言葉が紙面に登場です。社会的に、行け行けどんどんというわけに行かなくなってきたということでしょうか。アメリカ合衆国の宗教的保守化ということも語られていた。あとは、経済的に急成長する中国と市場支配が怪しくなっているアメリカのドル、その中間にいる日本という国。国家という社会意識の強まりと、個人のよって立つところのせめぎ合いが先鋭化して来るのでしょうか。

このblogにFlashを埋め込めると言うことはわかったの楽しくなりそうです。音は、「Soundtrack」の楽器ファイルから持ってきたのですが、そのあり場所を探すの手間取った。それでまああ、1月1日の一人遊びとしてなんとかできました。で、「蓮飛」は画像をただ切り取って作ったので、短冊のパラパラアニメという感じ。背景を透明にしてみようと思う。

15:17:36 - shirouyasu - No comments

**Flashムービー書き込みテスト：蓮飛**

ここにFlashが入れられるか、というテストです。ムービーは昨日書いた「蓮飛（れんとび）」です。ブラウザを更新すると再び飛び始めます。



00:08:18 - shirouyasu - 3 comments

**2005-01-01**

1月1日も、もう夕方。

目覚めたのは8時過ぎ、新聞と年賀状を見る。年賀状は124通。昼近くなって、白ワインコップ一杯で麻理とおめでとう、小さい切り餅3個、大根とにんじんとほうれん草と里芋の雑煮。それと、黒豆、栗きんとん、ごまめ、かまぼこ、数の子、卵焼き、生ハムなどが入った重箱のおせち料理。19通の出してなかった人に返信の年賀状。家の戻って、多摩美の卒業生の、民芸の女優さん、中地美佐子さんに電話して、大役を貰ったことにおめでとうをいう。そして、1月と3月の民芸55周年記念公演久保栄作「火山灰地」の切符を予約した。

それから、Flashムービーを作りに掛かる。朝倉無声著「見世物研究」から拝借してHPの賀状に使った「蓮飛(れんとび)」の挿絵の男を飛ばせようと思う。その「高足に乗って飛はねる光景は、さながら蓮の実の飛ぶようであるとの意か、さななくば連れさまに飛ぶといふ所から、命名されたものであらう。」とある。飛ぶのは何とか出来たが、音をどうするかということ。

17:04:16 - shirouyasu - No comments

新年おめでとうございます。

この新年の挨拶を、blogに書き込むところから今年は始まりました。5月にはわたしは70歳になります。大学教員の職業も定年になります。つまり、今年から来年に掛けて、生きていることの節目を迎えるわけですね。生活は徐々に変わってきています。その変わり方の傾斜が速くなると云うことでしょうか。なるべく人の世話にならないで生きていきたいです。ストレッチ体操、炊事の支度、洗濯なども積極的にやっています。後は、若い人との関係をどうやって維持していくかということです。わたしは目標というのが苦手です。行き当たりばったり、自然体でやっています。それにしても、このblogを始められたというのは面白いですね。「極私的に」生きる志郎康ですからね。

00:32:16 - shirouyasu - 2 comments